



**大正時代の活気**

大正四年に架設された御旅橋の渡り初め橋の様子です。

橋の渡り初めは、永代の安全を祈って親子三代の夫婦が揃って渡るとい風習がありますが、こちらは袴を着た翁と打掛を羽織った媪夫婦と紋付きの正装をした夫婦二代で渡り初めしているようです。特別な装飾が施され、四方に忌竹を立てて注連縄を引き廻らし神事として行われていたことが解ります。

周囲には見物に詰め掛けた人々が垣根を成し、向かいの家の二階は子供たちでこぼれそうです。

峰山町御旅の小西川に架かる御旅橋、大正四年から昭和二年の震災で失われるまでの一二年間がこの橋で、次代は昭和四年に再建されてから今年二月に老朽化で架け替えられるまで九二年間が経っていました。

この頃は町内で電力や水道が整備されるなど市街地の近代化が進められ、活気にあふれていたようです。

大正を生きた先人達の熱気が伝わってきます。

令和四年  
祭行事のご案内

初詣

初詣にお参りの方へお願い  
疫病蔓延防止にご協力をお願い致します。  
必ずマスクの着用をお願い致します。  
参拝の折など列にお並びの際は十分の間隔を取って下さい。  
三ヶ日にかかわらず、日をずらしてのご参拝をお勧め致します。

大晦日より終夜参拝

三ヶ日 御神酒 授与

正月縁起物多数

「甘酒」の接待は中止します。

一月十四日(金) 午前七時〜 焼納祭(どんど焼)

二月節分還暦初老祈願

祈願祭としてのご案内は取り止め、個別にご祈願として承りますので、事前にご予約下さい。地域にかかわらずお申し込み下さいませ。

四月九・十日(土・日) 春季大祭 吉例「宝籤」開催予定

令和四年度のお伊勢さん初まわりは中止になりました

馬絵顔の猫

拍猫さんにちなんで  
思いのこもったオリジナルの顔を描いて  
幸せになる願いを書いて 奉納して下さい。

企画 わこプロジェクト 初穂料 700円

kon-te1.jindo.com

こんぴら  
手づくり市

3日曜日  
(開催日) 12/19  
R4/3/20  
4/17  
10:00 ~15:00

1・2月はお休みです  
出展者募集中!

神社の屋内でお食事を「1day cafe」

厳肅で清楚な  
結婚式 御祈禱

金刀比羅神社

宮司 脇阪卓爾

〒617-0001 京丹後市峰山町泉二六五二  
電話 〇七七二六二〇二五  
FAX 〇七七二六一五九九三

mail info@konpirasan.com  
http://www.konpirasan.com

令和4年の厄年(数え年)

平成16年生 19歳 女子厄年  
平成10年生 25歳 男女  
平成2年生 33歳 女子大厄  
昭和61年生 37歳 男女  
昭和56年生 42歳 大厄初老  
昭和37年生 61歳 還暦  
昭和28年生 70歳 古稀

新年祈願 承り中

家内安全 心身健勝  
商売繁盛 会社隆昌  
男女厄年 開運厄除  
合格祈願 学業成就  
海上安全 大漁満足

## 御旅所の橋

橋建設中の写真は北から南向きでまだ市場のアーケードはなく、この翌年大正五年に木造屋根のアーケードが出来たようです。

「御旅」という地名は「御旅所」に由来しています。金刀比羅神社が出来た以前からあったもので、実は安の祇園さんとして知られる吉原稲代神社の御旅所がこのあたりにあったからです。

峰山の市街地は江戸時代京極家が藩主となってから整備されました。吉原権現山麓の陣屋を中心に貫族という藩の家臣たちの家中屋敷街から小西川より北までが町域



御旅橋の建設 大正4年



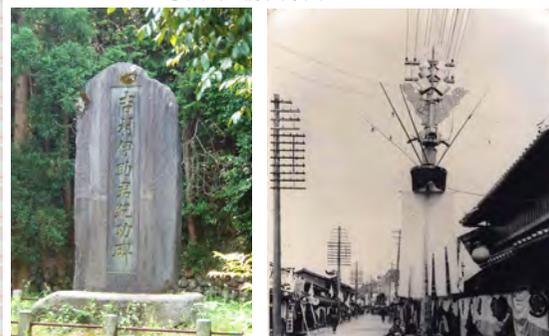
小西川大橋北側 西を望む

で、川より南（今の白銀泉御旅あたり）は「出町」とされていま

町内の近代化  
この頃には町の近代化が進められ多くの整備事業が行われました。大正元年（一九一〇）には電気が来て電灯が灯り、大正六年には電力が通じます。

また江戸以降に整備された町域なので、氏神さんの区域も今とは違っていました。明治六年（一八七三）に金刀比羅神社の氏子に切り替えられるまで、家中町あたりは赤坂の昨岡神社で、それ以外は杉谷を含めて安の祇園さんの氏子だったのです。出町の御旅あたりに京極家臣の馬場があり、その一角に安の祇園さんの御旅所があったことから御旅となったのです。

道が完備されました。当時町長だった吉村伊助氏が総工費の八割を私財で負担し、明治三九年（一九〇六）から一〇年がかりで行われた大事業でした。吉原権現山麓の水源地は今も堤があり、その傍らの陣屋跡隣地には吉村氏の偉業を讃えた「吉村伊助君紀功碑」が建っています。



吉村伊助君紀功碑

電線が無数に走っている



吉原権現山麓の水源地

大正九年（一九一九）には小西川の大改修が行われています。町域から杉谷地域は曲折し度々氾濫して水害が起き、田畑の用水にも難があったため、現在の直線に改修する治水事業が行われました。その後大正十四年（一九二五）には峰山駅ができて峰山線が開通するといふ晴れの日を迎えますが、昭和二年（一九二七）の北丹後地震で町は壊滅してしまいました。以降も小西川は水害をおこし、まさに今河川改修と橋の架け替えの工事が進められています。この機会に先人の偉業に思いを馳せてみては如何でしょうか。



改修完成式典の様子が

## コロナ禍にも工夫を凝らしこまねこまつり開催

当初は九月十九日前後三日間での開催を計画していましたが、九月末まで緊急事態宣言が発令され、延期や企画ごとに分散での開催となりました。

### 疫病退散を祈って

九月十九日（日）の催しはすべて延期となり、当日は少人数での疫病退散祈願祭のみ執行し、こまねこまつりや狛猫についての説明と共にインターネットでの配信が行われました。



疫病退散を祈願し 代表が挨拶



ねこねこよろず相談会



陶器ねこねこ面ペイント



大丹後ネコ派てん 田中ギャラリー



「猫の目」展



こまねこウォーク 河辺飛行場格納庫



こまねこウォーク 河辺飛行場弾薬庫



峰山海軍航空隊 記念碑



ウィキペディアにゃうん 編集

### こまねこウォーク

十月三十一日（日）羽衣ステーション「てくてくわがまち再発見」との共催で河辺飛行場や格納庫などの戦争遺構をたどり、丹後織物工業組合で設立百周年を記念し、こまねこまつり実行委員会も協力した丹後ちりめんデジタルアーカイブ事業の成果発表会を見学するなど総勢三十五名が参加しました。

### ウィキペディアにゃうん

「ウィキペディアにゃうんV O L 4」はこまねこウォークと同日に開催し、ウォークで取材した「峰山海軍航空隊」の記事を編集してウィキペディアに新たな項目が追加されました。戦時下に当地がどう関わったのかや、今も残る数々の戦争遺構など歴史が詳しく記録されました。